

公開・非公開の別

公開 部分公開
 非公開

令和5年度第1回浜松市障害者施策推進協議会会議録

1 開催日時 令和5年8月30日（水） 午後2時00分から午後3時09分

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 第4委員会室

3 出席状況

出席委員

新宮尚人会長、小澤久好委員、兼子とみ江委員、澤根緑委員、塩野州平委員、鈴木一委員、高柳弘行委員、湯口琢磨委員

欠席委員

高橋久美子職務代理者、村松真奈美委員

関係課

鈴木障害者更生相談所長、小山こども家庭部参事（子育て支援課長）、影山教育支援課長、小林危機管理監代理（危機管理課長）、横井中区社会福祉課長、鈴木東区社会福祉課長、夏目西区社会福祉課長、藤澤南区社会福祉課長補佐（課長代理）、鈴木北区社会福祉課長補佐（課長代理）、伊藤浜北区社会福祉課長、小栗天竜区社会福祉課長補佐（課長代理）

事務局

鈴木健康福祉部長、渡辺健康福祉部次長（福祉総務課長）、久保田障害保健福祉課長、稲葉精神保健福祉担当課長、金原障害保健福祉課長補佐、宮本総務調整グループ長、大庭指導・請求審査グループ長、岡田手当助成グループ長、柴田生活・就労支援グループ長、河合精神保健グループ長、総務調整グループ澤田・中田

4 傍聴者 3人（一般1人、報道2人）

5 議事内容

協議事項

- （1）第3次浜松市障がい者計画の進捗状況、第6期浜松市障がい福祉実施計画及び第2期浜松市障がい児福祉実施計画の進捗状況について
- （2）第4次浜松市障がい者計画の骨子案について
- （3）障害者差別解消法に係る浜松市の取組状況について

報告事項

- (1) 障がい者相談支援事業における支援体制の見直しについて
- (2) 医療的ケア児等相談支援センターの新設について

6 会議録作成者 障害保健福祉課総務調整グループ 澤田

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開会

2 議事

協議事項

- (1) 第3次浜松市障がい者計画の進捗状況、第6期浜松市障がい福祉実施計画及び第2期浜松市障がい児福祉実施計画の進捗状況について

- 会議資料に基づき事務局が説明

- 質疑応答、意見・感想

(高柳委員)

会議資料24ページのコメントについて、湖西市の作業所で話を聞いたところ、精神保健福祉士が相談・連携して一緒に動きサポートすることでほぼ就労につながるようだ。就労継続支援B型は、就労移行支援やA型と少し違い、抱えているものが重い。B型から一般就労に7人移行という結果を得られたことはすごい。

(事務局)

就労継続支援B型はA型と役割が違うところがあり一般就労につながりにくいという意見は十分承知している。就労の機会や工賃の向上を含め、就労の支援をしていきたいと考えている。御協力をお願いする。

- (2) 第4次浜松市障がい者計画の骨子案について

- 会議資料に基づき事務局が説明

- 質疑応答、意見・感想

(事務局)

本日欠席の高橋委員から骨子案の基本理念に関する意見と、重点施策の文言に関する意見をいただいているので披露する。

・骨子案の基本理念について

「「支え合いによって」から始まるのが気にかかる。障害者基本法には「支え合い」の文言はでてこない。わたしたち家族からすると、家族間でなんとかしなさいと言われていたような気になる。また、「障がいとは、社会に問題があるのではなく、障がい者本人に問題がある」という古い考え方にも感じられる。

「障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し、地域で希望を持って安心して自分らしく暮らすことができるまち」ではどうか。」

・重点施策の文言について

「いままでは「2. 相談支援体制の整備と「きめ細かな」相談支援の充実」と表記されていたが、今回は「きめ細やかな」となっている。「きめ細かな」が日本語としては正しいようだが、ことばのイメージとして「細やか」の方が包み込むような優しさだと言われている。今回の分野別施策 5. 療育・教育において、「一貫したきめ細かい支援」となっているところがあるため、こちらも「細やかな支援」としたらどうか。」

(事務局)

いただいた意見は持ち帰って今後の計画案策定に反映する。この協議会だけでなく他の附属機関等で意見をいただいている。今回の案について、見直した方がいい部分や障害保健福祉の現状に関する委員の意見を是非お願いしたい。

(3) 障害者差別解消法に係る浜松市の取組状況について

- 会議資料に基づき事務局が説明
- 質疑応答、意見・感想

(湯口委員)

会議資料36ページの「合理的配慮の提供及びユニバーサルデザイン化の取り組み」について、広報はままつや市議会だよりの音声版を作成していることは素晴らしい。視覚障がい者は点字離れが進んでいて、スマホやパソコンを使用するほうが主流になってきている。点字が使えない人も結構増えている。個人情報扱うことになると難しいと思うが、視覚障がい者にメリットが大きい音声化を他にも広げてほしい。

(事務局)

音声化の希望は聞いている。ソフトを導入してどのように進めていくか検討している。導入が出来次第、必要とする人に希望をとって進めていきたいと考えている。

(鈴木委員)

会議資料40ページの相談分野（医療）の件数が0件というのは驚き。障がいを

理由とする診療の拒否は確実に差別に当たることは明らか。歯科医師会でも広報している。しかし、実際には断られたという事例をいくつか聞いている。あつてはならないことであり、もしそういった事例があれば会に連絡を。

(事務局)

今回の資料では浜松市に相談があった件数のみを計上している。直接、各歯科医師会等へ相談が入っているかもしれない。障害者差別に関しては、口腔保健委員会の場でも報告をいただくようお願いしている。

(新宮会長)

ぜひ現場の意見をあげていただきたい。

報告事項

- (1) 障がい者相談支援事業における支援体制の見直しについて
- (2) 医療的ケア児等相談支援センターの新設について
 - 会議資料に基づき事務局が説明
 - 質疑応答、意見・感想

5 閉会